

資料編2 調査・分析

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

本調査は、要介護度の悪化につながるリスクだけでなく、生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合い体制づくり、介護予防の推進等のために必要な社会資源を把握することを目的として実施しました。

②対象者

高崎市在住の要介護認定を受けていない高齢者（4,500人）

③調査期間

2022年11月18日～2023年1月10日

④調査方法

要支援、要介護認定を受けていない方（3,000人）、要支援1・2及び総合事業対象者の方（1,500人）を、高齢者あんしんセンター（市内29箇所）の担当圏域ごとに無作為に抽出し、調査票を郵送する方法で実施しました。

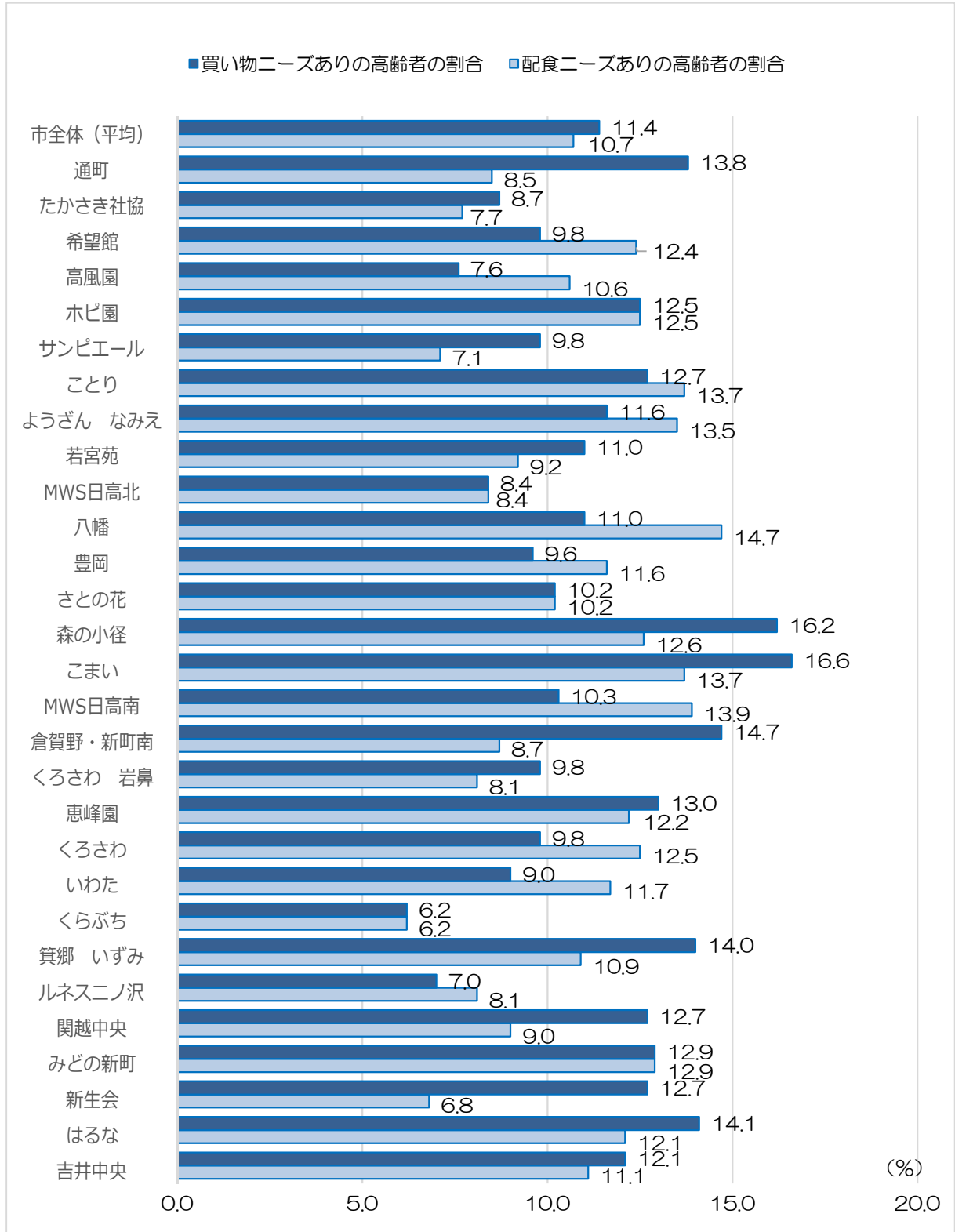
⑤調査数

配布数	回収数	回収率
4,500件	3,101件	68.9%

(2) 調査内容

① 「買い物」、「配食」ニーズのある高齢者の割合

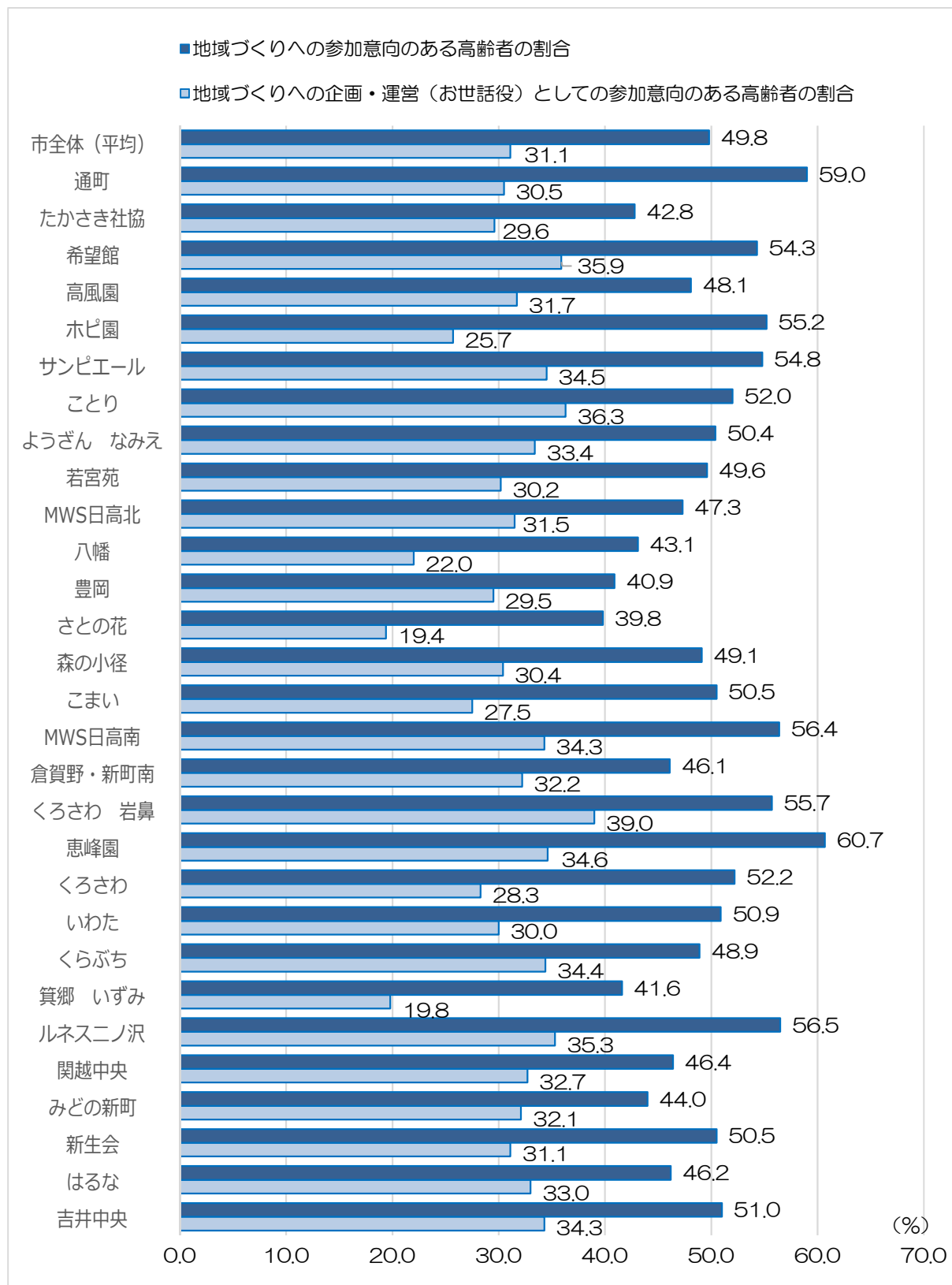
日常生活に欠かせない「買い物」・「配食」ニーズのある高齢者の割合です。



■資料編 2 調査・分析

②地域づくりに参加意向のある高齢者の割合

「地域づくり」、「地域づくりへの企画・運営」に参加意向のある高齢者の割合です。



③各種活動に参加している高齢者の割合

「ボランティア活動」や「趣味関係のグループ」など各種活動に参加している高齢者の割合です。

(単位：%)

	ボ ラ ン テ ィ ア 等	グ ス ポ ー ツ 関 係 の グ ル ー プ や ク ラ ブ	趣 味 関 係 の グ ル ー プ	学 習 ・ 教 養 サ ー ク ル	介 護 予 防 の 為 の 通 い の 場	長 寿 会	町 内 会	収 入 の あ る 仕 事
市全体（平均）	9.5	19.1	22.1	6.7	14.2	7.6	19.8	19.1
通町	10.6	16.8	26.4	4.3	10.6	6.4	21.1	23.2
高崎社協	7.8	19.1	22.0	9.6	13.4	2.0	18.1	19.1
希望館	10.7	29.0	27.2	8.0	15.8	5.3	19.4	21.0
高風園	11.6	22.1	17.3	5.7	12.5	9.6	23.2	16.3
ホビ園	8.6	19.1	20.1	8.6	9.6	3.9	22.9	16.2
サンピエール	9.8	24.7	26.6	7.1	15.1	5.4	18.6	21.3
ことり	7.9	20.5	22.6	7.8	15.7	15.8	19.7	21.6
ようざん なみえ	8.6	12.5	19.1	5.8	14.4	11.5	13.4	15.3
若宮苑	7.3	20.3	27.6	9.2	17.4	6.3	21.0	21.1
MWS日高北	10.2	20.4	22.3	5.6	19.5	9.3	16.6	17.5
八幡	5.4	17.5	15.7	3.7	13.7	0.9	18.4	20.1
豊岡	7.7	17.3	19.1	8.7	14.3	2.0	20.1	19.1
さとの花	9.2	13.0	21.2	5.5	16.7	12.0	19.5	20.5
森の小径	9.8	26.0	24.2	4.5	13.4	9.0	26.8	20.6
こまい	9.1	15.6	25.7	7.4	13.7	7.3	21.1	21.1
MWS日高南	11.1	17.5	24.0	9.4	13.9	5.6	16.7	12.9
倉賀野・新町南	5.3	13.0	17.4	4.3	9.6	2.7	10.5	12.2
くろさわ 岩鼻	5.4	15.0	16.8	7.2	7.1	3.6	26.6	19.5
恵峰園	11.2	18.6	19.6	4.6	16.8	12.0	18.6	10.2
くろさわ	8.0	23.0	22.1	7.1	16.8	1.8	12.4	19.5
いわた	10.8	19.1	28.2	10.9	9.0	10.0	25.5	19.1
くらぶち	18.8	15.6	20.8	9.3	14.6	19.8	33.3	27.1
箕郷 いずみ	7.9	12.9	15.8	5.0	15.9	11.9	18.8	17.9
ルネス二ノ沢	12.2	21.3	22.3	6.0	23.2	7.0	20.2	21.2
関越中央	10.8	22.8	24.5	5.4	14.5	12.7	21.8	22.7
みどの新町	13.7	18.4	22.9	9.1	13.8	11.9	9.2	17.4
新生会	6.8	20.3	22.3	4.8	13.5	2.0	21.4	19.3
はるな	10.3	20.7	22.6	5.6	14.1	9.3	22.7	21.6
吉井中央	9.2	21.4	23.2	2.8	14.8	6.5	23.1	17.6

各種参加率の高かった上位5地域

■資料編2 調査・分析

④各種リスクを抱える高齢者の割合

「運動器機能」や「認知症」など各種リスクを抱える高齢者の割合です。

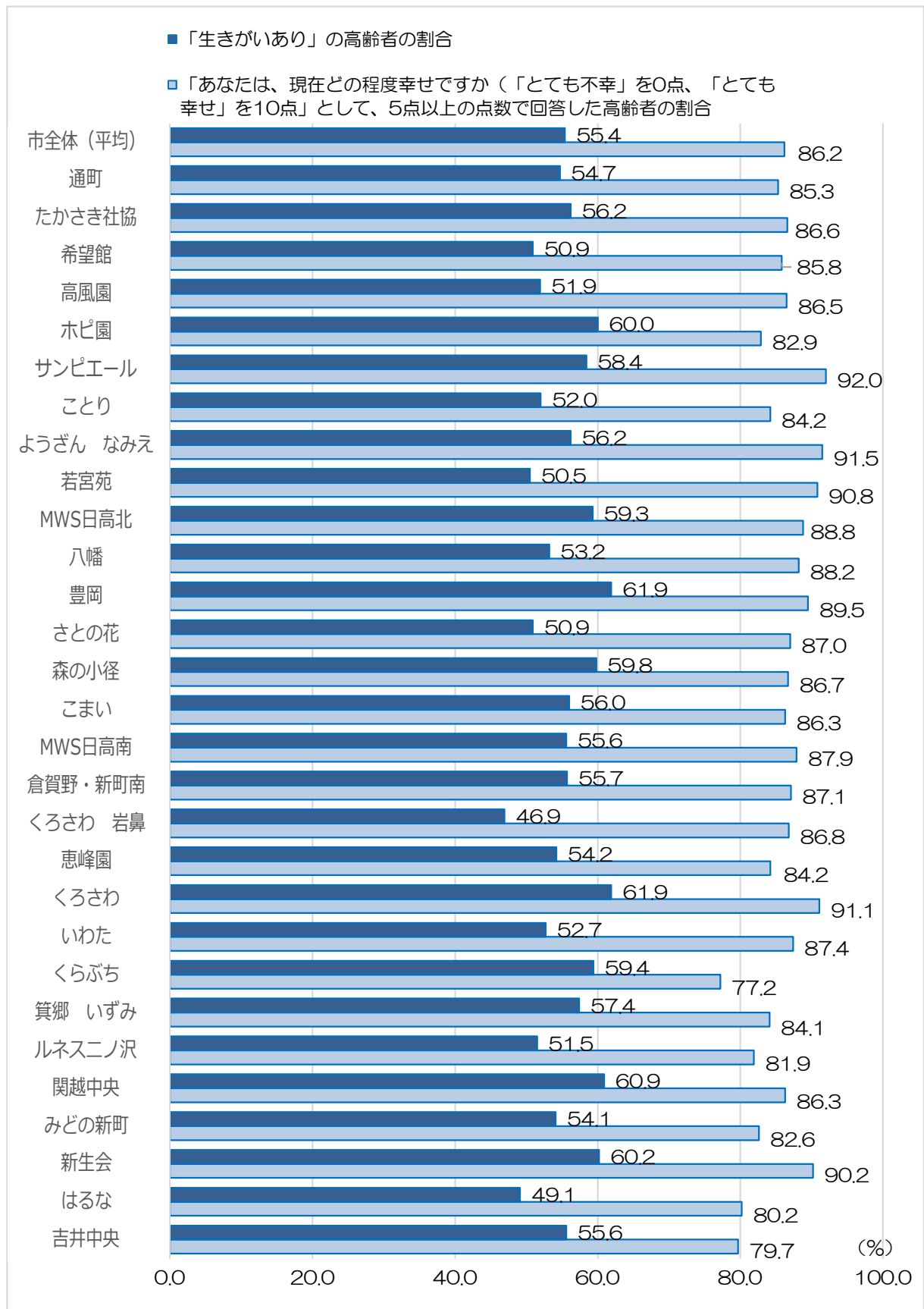
(単位：%)

	運動器機能	栄養改善	咀嚼機能	閉じこもり	認知症	うつ	IADL	転倒
市全体(平均)	28.6	8.7	37.0	25.6	47.2	44.2	13.5	36.4
通町	29.7	9.7	32.8	26.6	49.7	38.0	13.8	40.2
高崎社協	26.9	9.6	36.5	25.0	46.9	47.6	11.6	34.6
希望館	25.5	12.5	46.6	17.6	50.0	50.1	14.2	36.9
高風園	24.2	7.9	33.7	26.9	46.1	48.0	9.8	34.6
ホビ園	30.8	10.7	36.2	26.8	56.3	48.7	15.6	45.0
サンピエール	26.4	9.9	33.6	17.8	44.3	39.7	11.6	35.2
ことり	30.6	10.0	42.2	24.4	47.1	42.0	14.8	42.2
ようざん なみえ	26.8	12.7	28.8	35.4	46.9	40.3	16.3	31.6
若宮苑	26.5	8.1	37.6	21.2	51.3	35.7	12.8	33.1
MWS日高北	27.8	11.1	35.3	28.8	50.9	41.0	8.2	40.8
八幡	19.4	9.0	42.3	22.9	43.0	48.7	11.9	32.1
豊岡	30.8	13.6	37.4	27.9	45.9	36.4	15.5	35.4
さとの花	27.8	9.4	33.4	28.7	51.1	50.0	12.9	38.1
森の小径	28.7	9.9	42.1	29.6	44.9	43.1	19.8	35.9
こまい	30.4	8.2	35.8	28.3	49.6	43.2	17.5	33.1
MWS日高南	34.3	12.9	33.4	28.0	48.3	40.9	14.8	39.9
倉賀野・新町南	34.7	9.7	42.8	25.2	53.8	47.8	15.5	40.8
くろさわ 岩鼻	31.0	9.0	46.1	29.3	41.7	45.0	10.8	37.2
恵峰園	28.1	11.2	39.2	25.2	42.9	46.5	13.1	31.7
くろさわ	25.9	7.2	32.0	20.5	45.2	47.9	11.6	27.8
いわた	28.9	3.6	30.7	19.8	45.4	47.2	9.0	36.2
くらぶち	28.1	7.2	37.5	30.2	48.9	40.7	10.3	42.7
箕郷 いずみ	28.8	3.0	31.9	27.0	46.7	33.9	14.0	38.6
ルネス二ノ沢	30.3	7.0	33.2	22.1	48.4	49.5	9.0	37.2
関越中央	27.2	5.4	38.0	25.3	41.6	47.2	13.5	37.0
みどの新町	25.6	9.1	37.6	22.9	45.1	41.3	14.7	35.0
新生会	28.1	6.8	35.8	34.0	41.7	51.4	14.5	37.9
はるな	31.0	4.6	41.4	22.5	52.0	43.2	17.7	33.0
吉井中央	32.6	9.3	33.3	29.7	47.2	44.6	17.8	37.1

各種リスクの高かった上位5地域

⑤ 「生きがいあり」の高齢者の割合

「生きがいあり」、「幸せ（5点以上）」と回答した高齢者の割合です。



2 在宅介護実態調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

本調査は、これまでの地域包括ケアシステムの構築という観点に加え、介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要かといった観点から、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等の介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施しました。

②対象者

在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請をし、対象期間中に認定調査を受けた方

③調査期間

聞き取り調査：2022年10月1日～2023年2月22日

郵送調査：2022年11月8日～2022年12月28日

④調査方法

市介護保険課や各支所市民福祉課職員による介護認定調査の際、本調査の内容を聞き取りする方法及び郵送による調査票の回答で実施しました。

⑤調査数

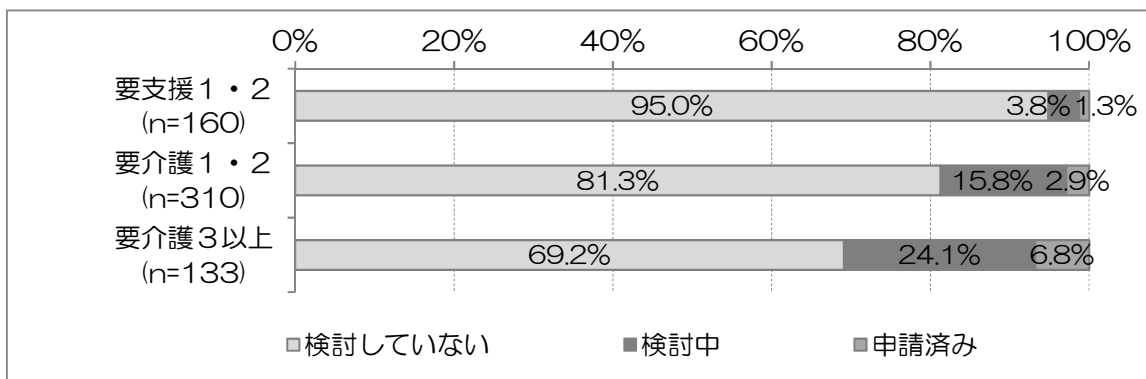
627件

(2) 調査内容

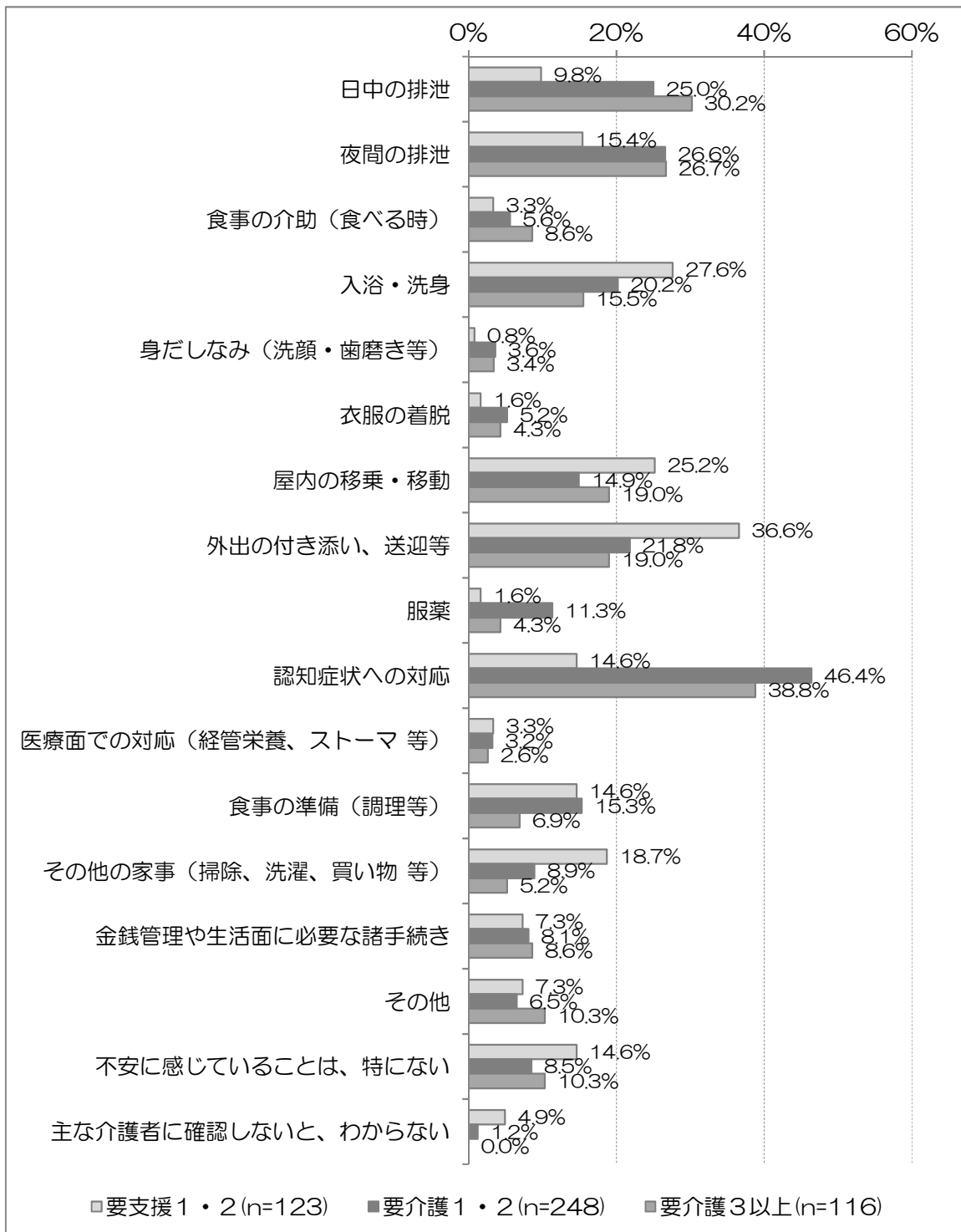
①介護者が不安に感じる介護の状況（要介護度別）

「要支援1・2」、「要介護1・2」、「要介護3以上」の要介護度別で、施設入所等を検討している介護者の割合と、介護者が不安に感じる介護の割合です。

<施設等検討状況>



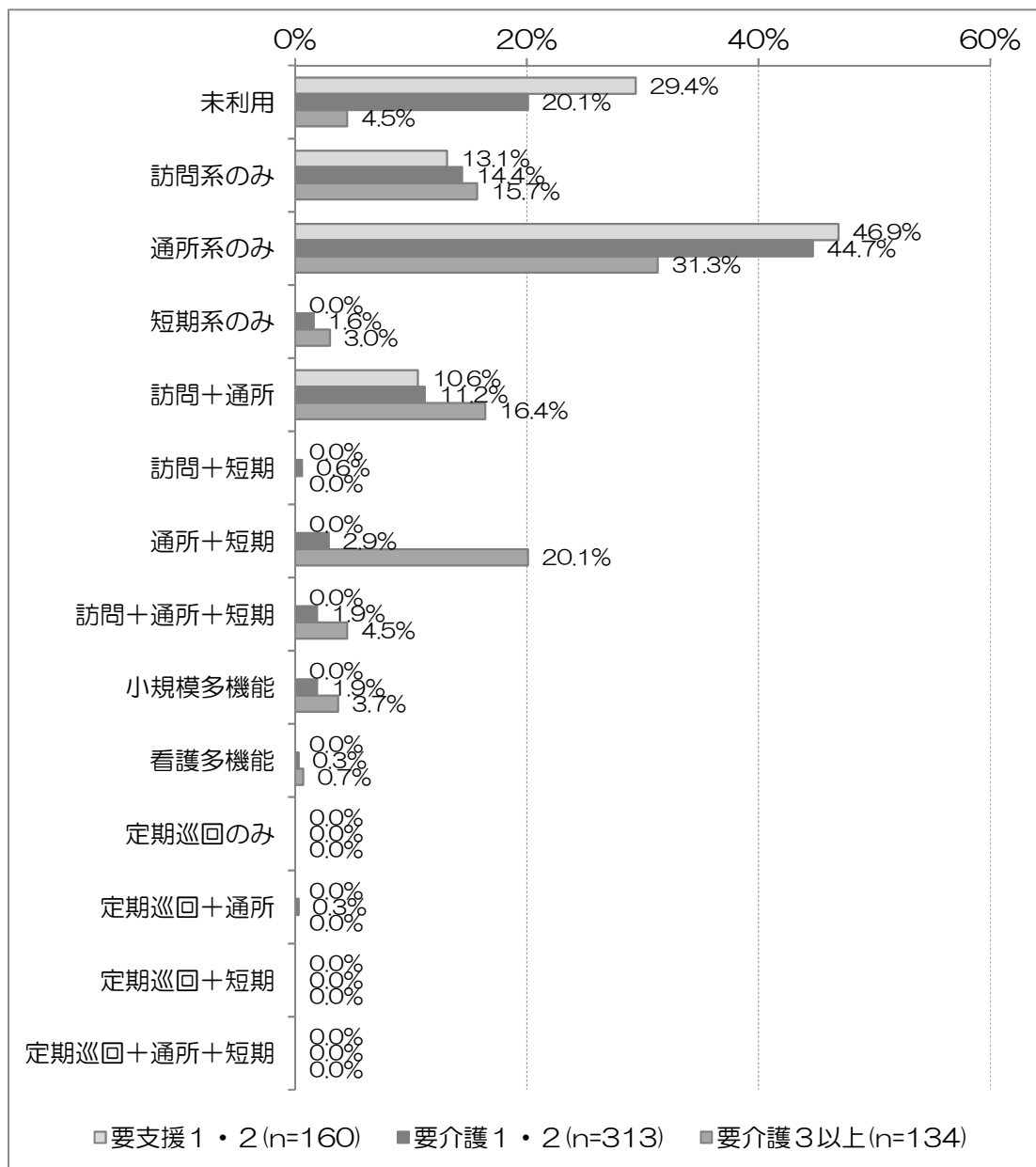
＜介護者が不安を感じる介護＞



■資料編 2 調査・分析

③サービス利用の組み合わせ状況（要介護度別）

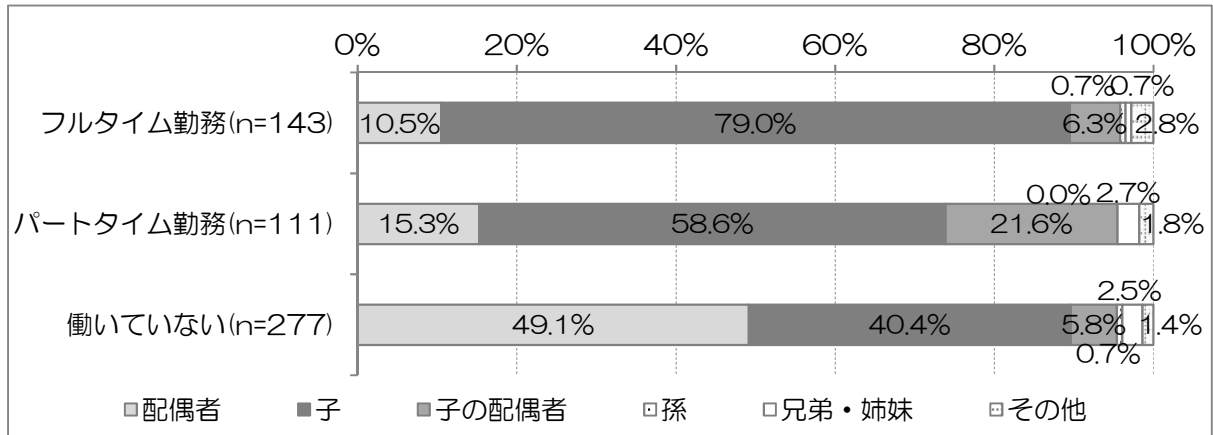
「要支援1・2」、「要介護1・2」、「要介護3以上」の要介護度別のサービス利用組み合わせ状況です。



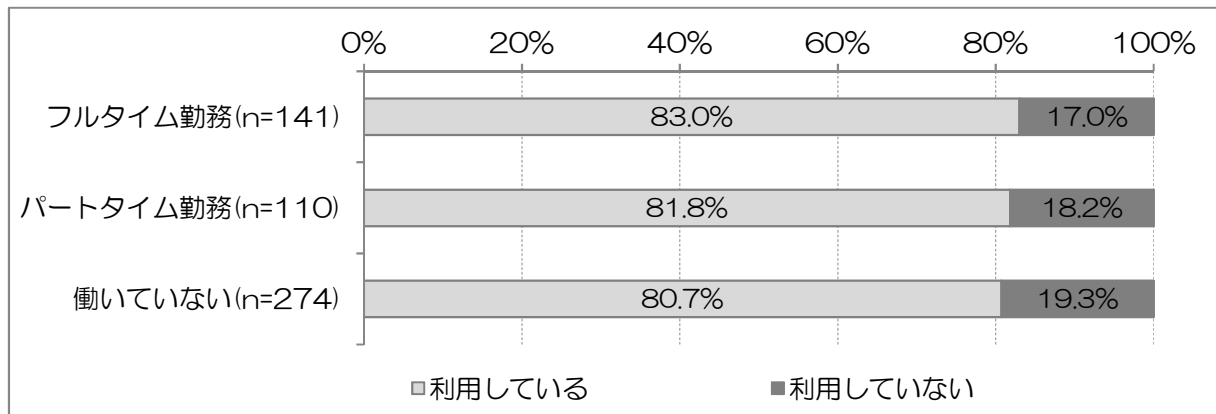
④主な介護者の就労状況等

主な介護者の本人との関係や就労状況、また今後の就労継続見込み状況です。

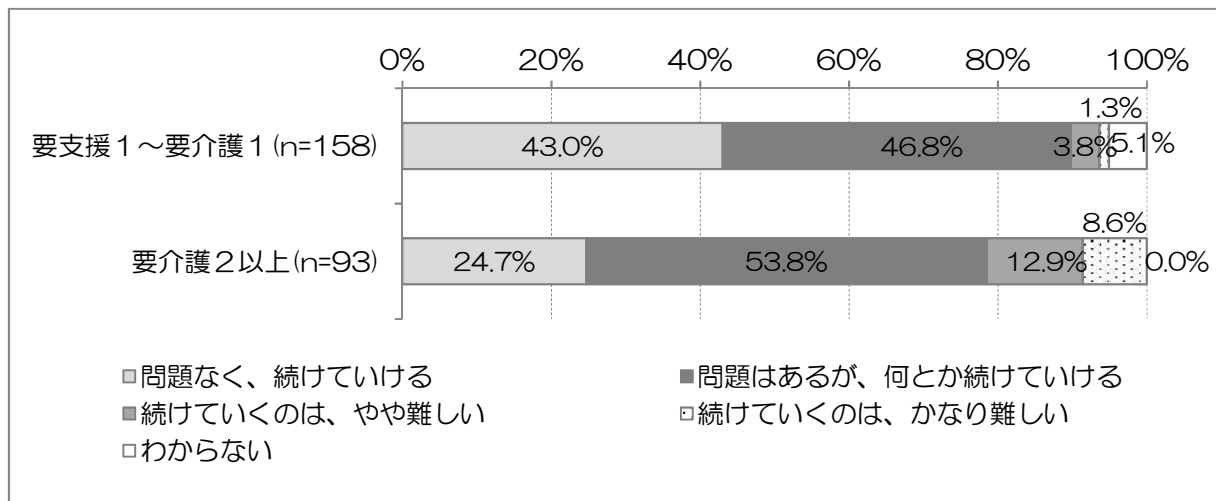
＜主な介護者の本人との関係（介護者の就労状況別）＞



＜介護サービス利用状況（介護者の就労状況別）＞



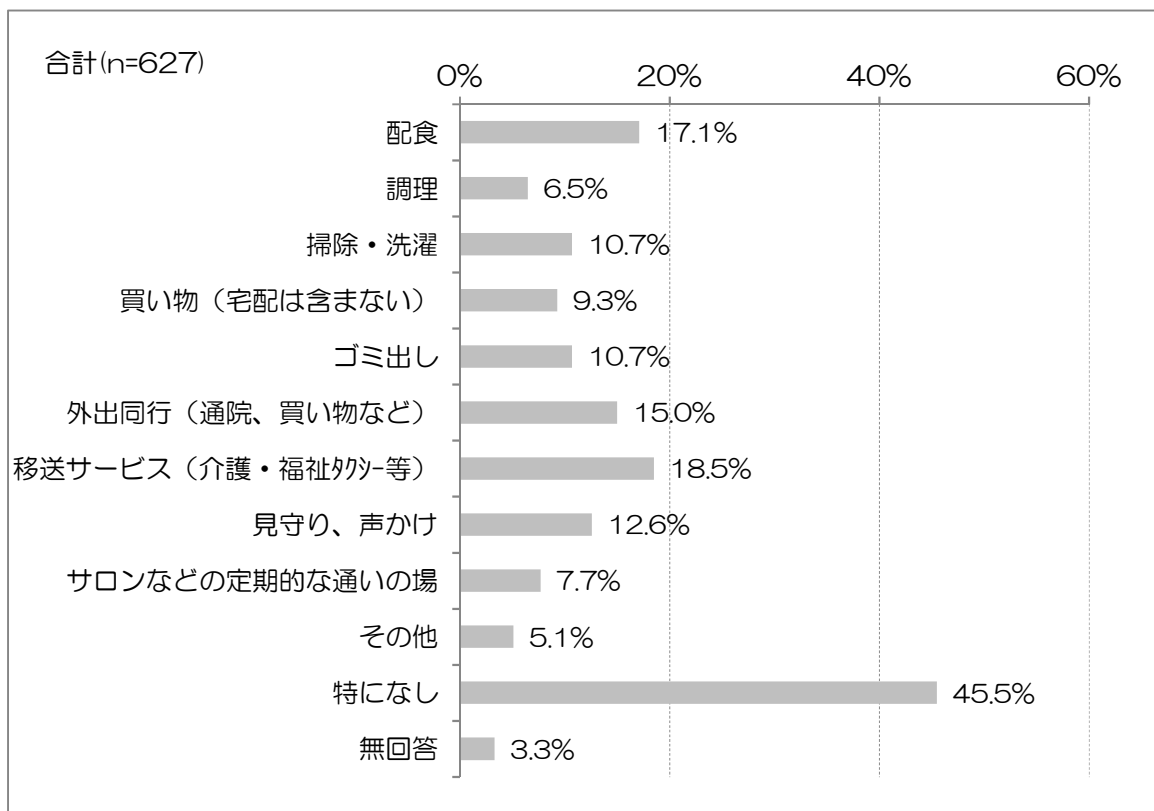
＜就労継続見込み（要介護度別）＞



■資料編 2 調査・分析

⑤在宅生活の継続に必要と感じる介護保険外の支援・サービス

在宅生活の継続にあたり必要と感じている介護保険外の支援・サービスの状況です。



3 介護人材実態調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

本調査は、高崎市内の介護サービス事業所における労働実態を把握し、地域内の介護人材の確保・サービス提供方法の改善などにつなげていくことを目的として実施しました。

②対象者

高崎市内の介護サービス事業所

③調査期間

2023年3月10日～2023年3月27日

④調査方法

高崎市内の介護サービス事業所に調査票をメール及び郵送する方法で実施しました。

⑤調査数

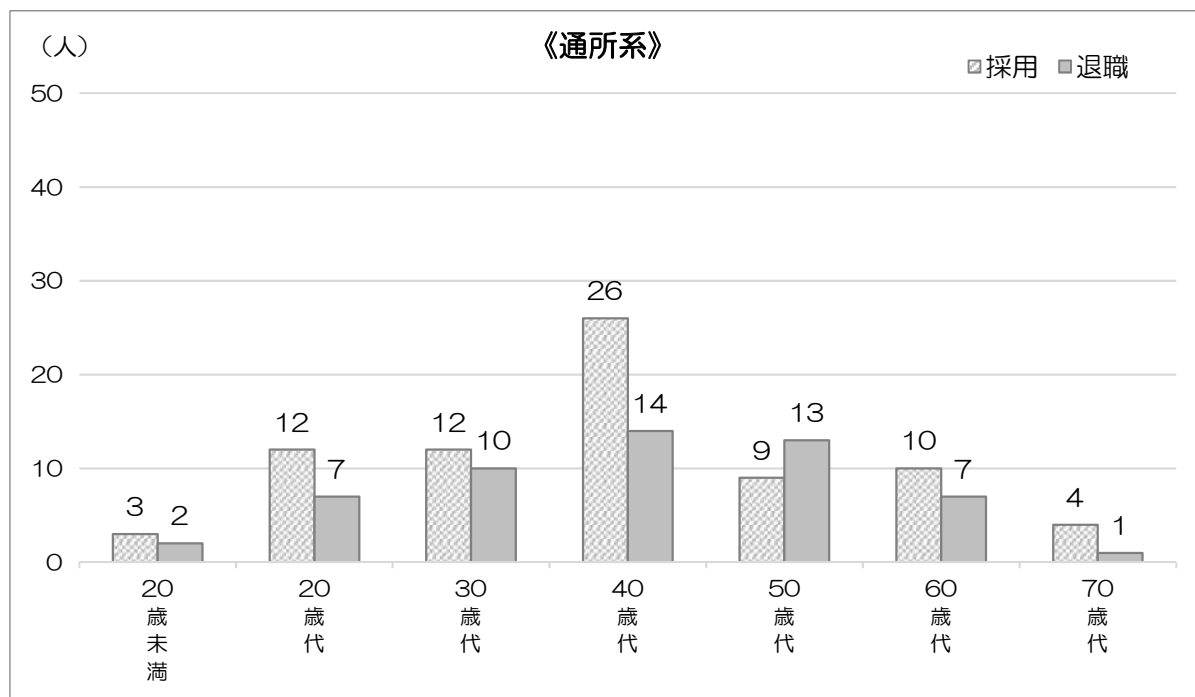
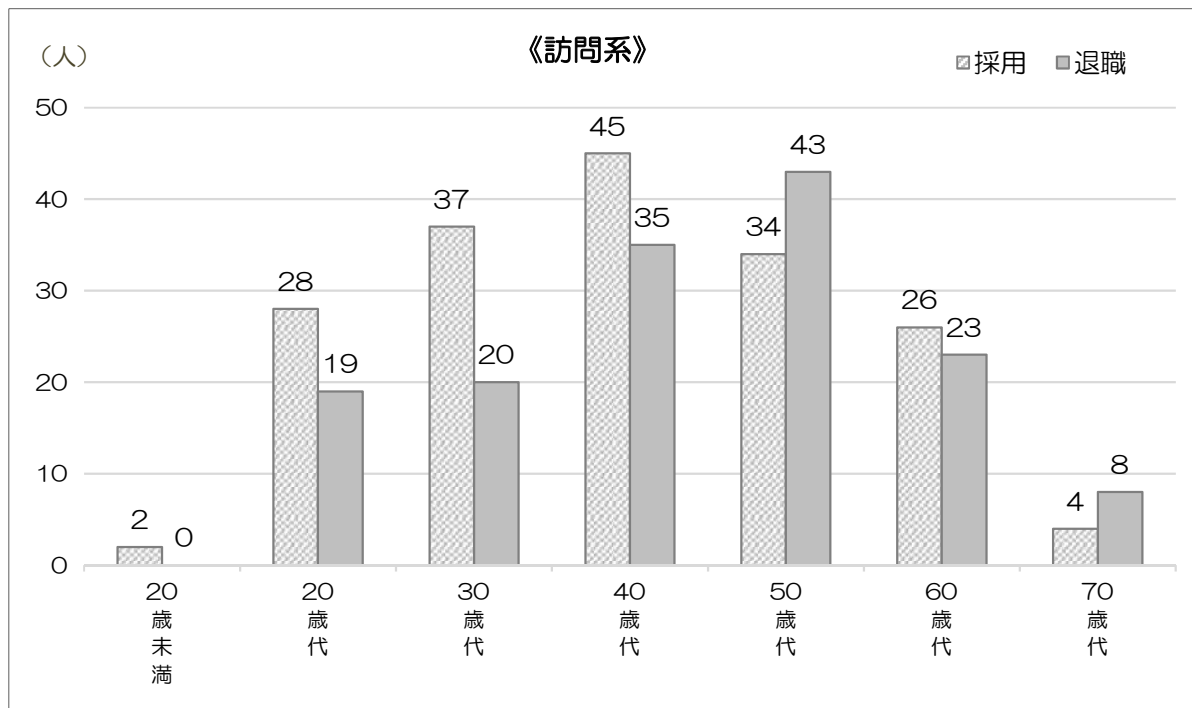
配布数	回収数	回収率
688件	193件	28.1%

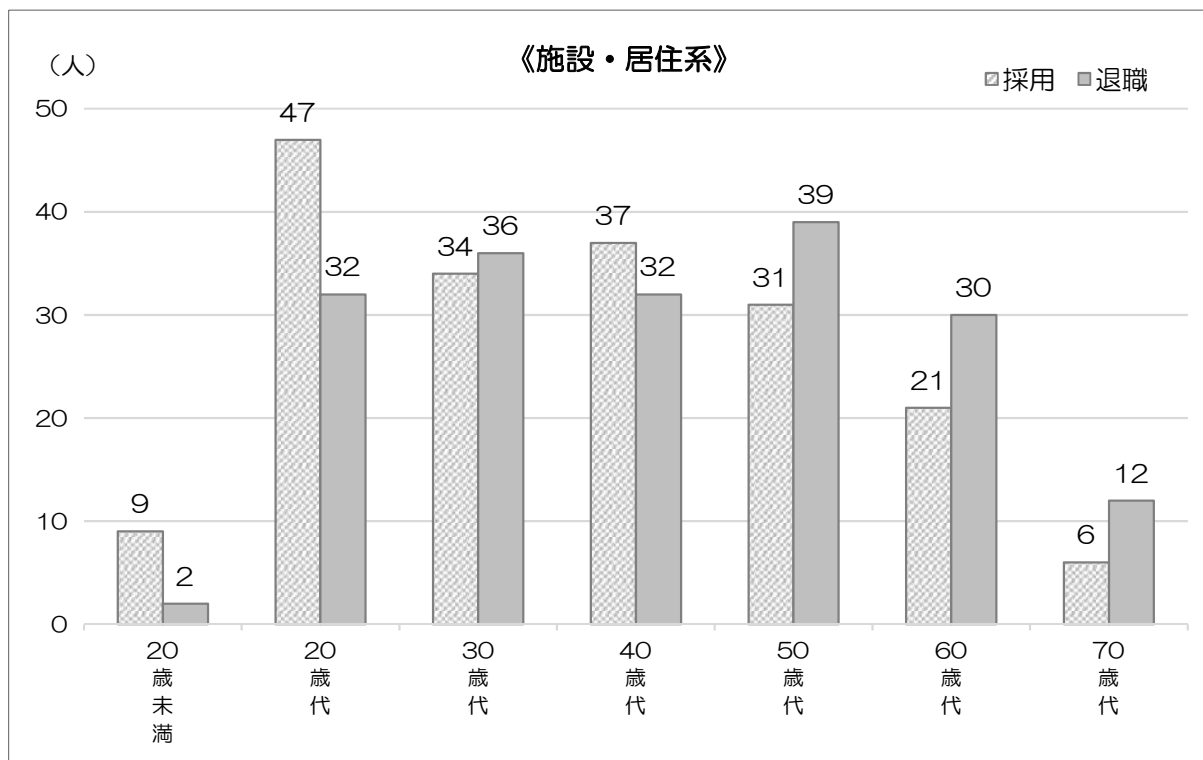
■資料編 2 調査・分析

(2) 調査内容

①事業所における年代別の採用者・退職者数

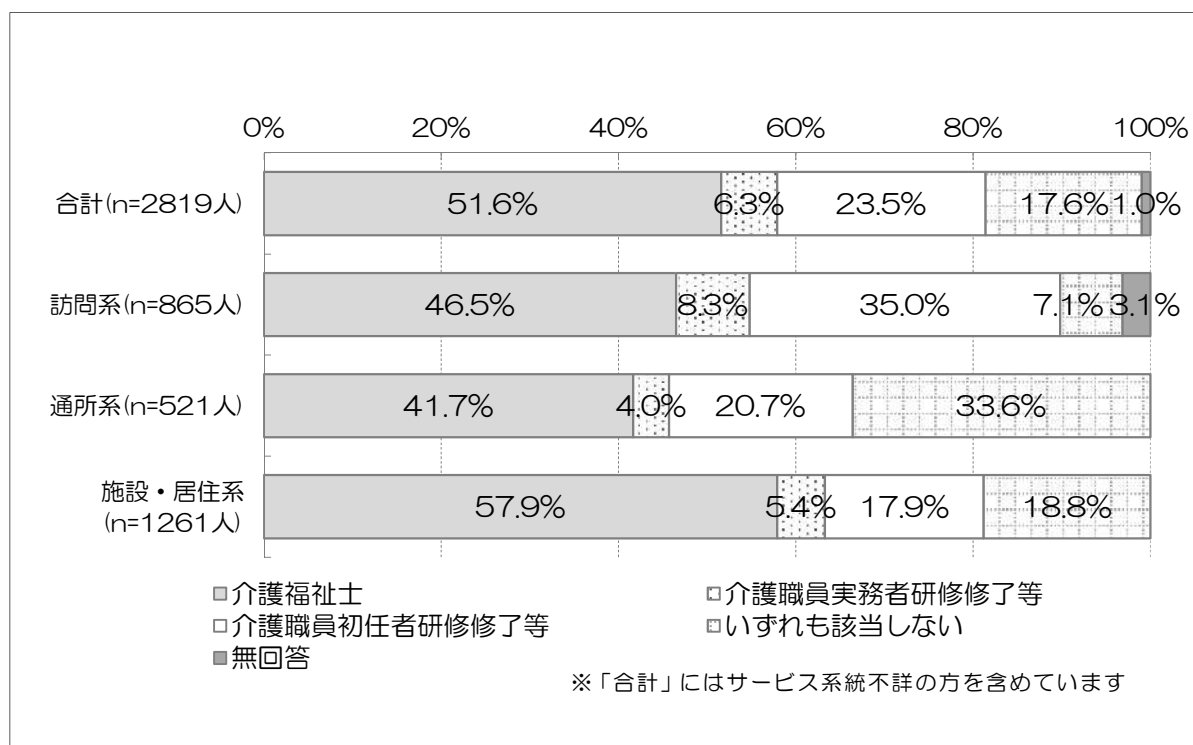
サービス系統別の、採用者数と退職者数の年代別の状況です。





②事業所における職員の資格保有の状況

サービス系統別の職員の資格保有の状況です。

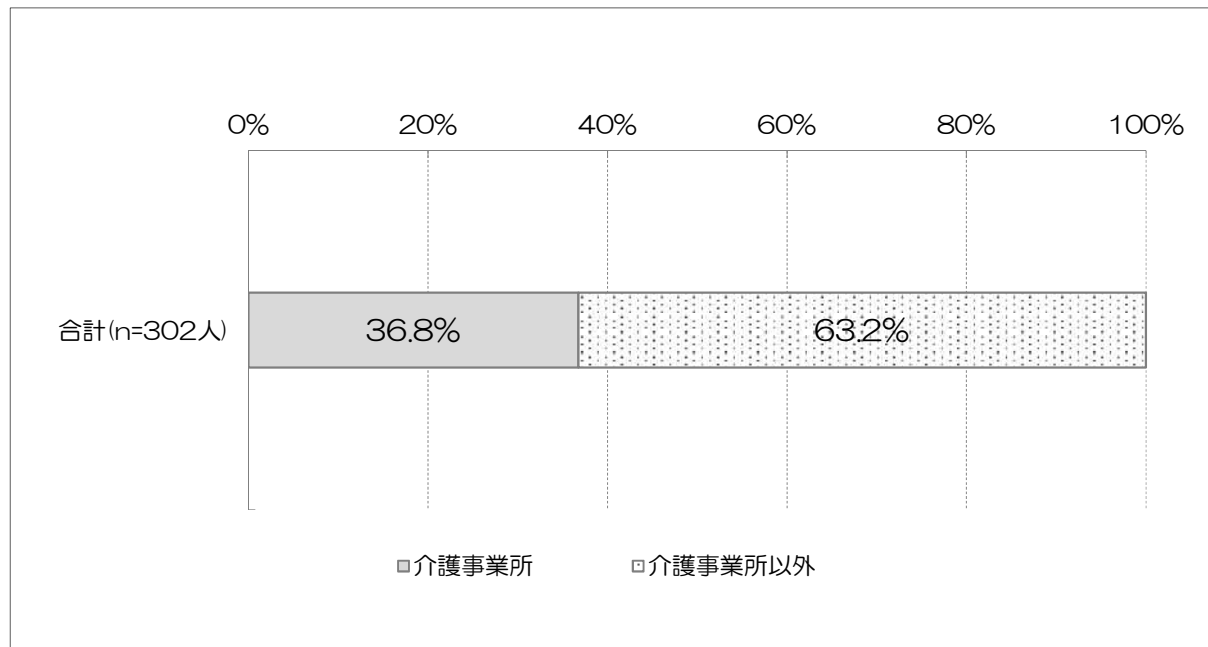


■資料編 2 調査・分析

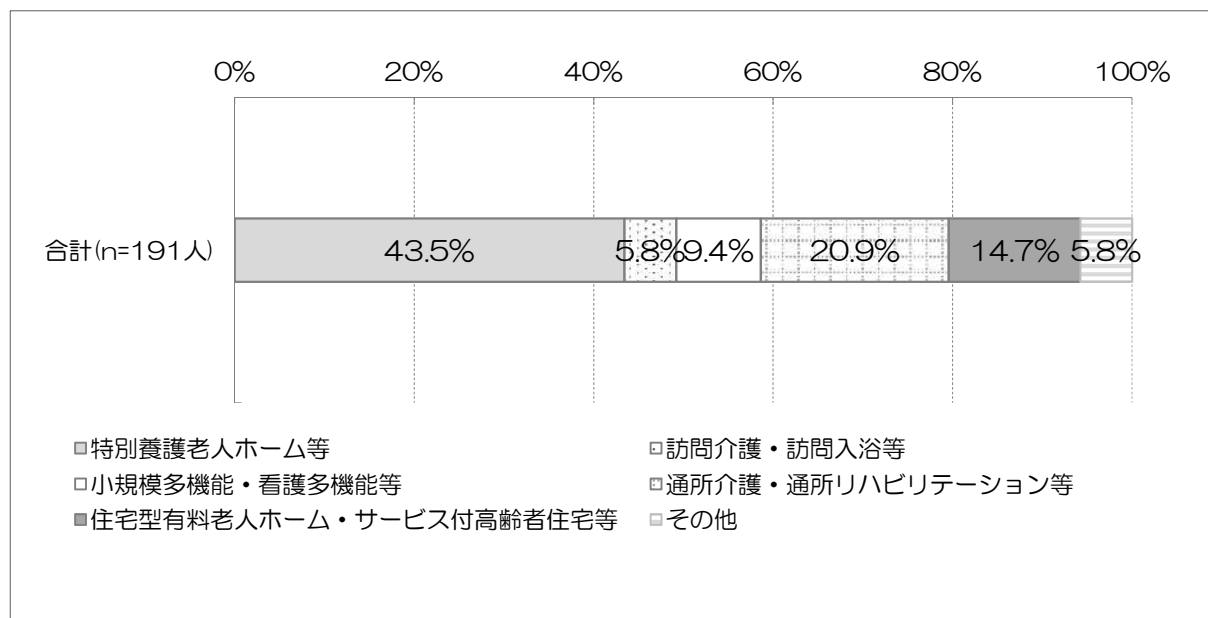
③事業所への転職者の状況

転職者の前の職場が「介護事業所」か「介護事業所以外」かの構成と、「介護事業所」からの転職者の前の職場についての状況です。

＜転職者の前の職場＞



＜介護事業所からの転職者における、前の職場のサービス種別＞

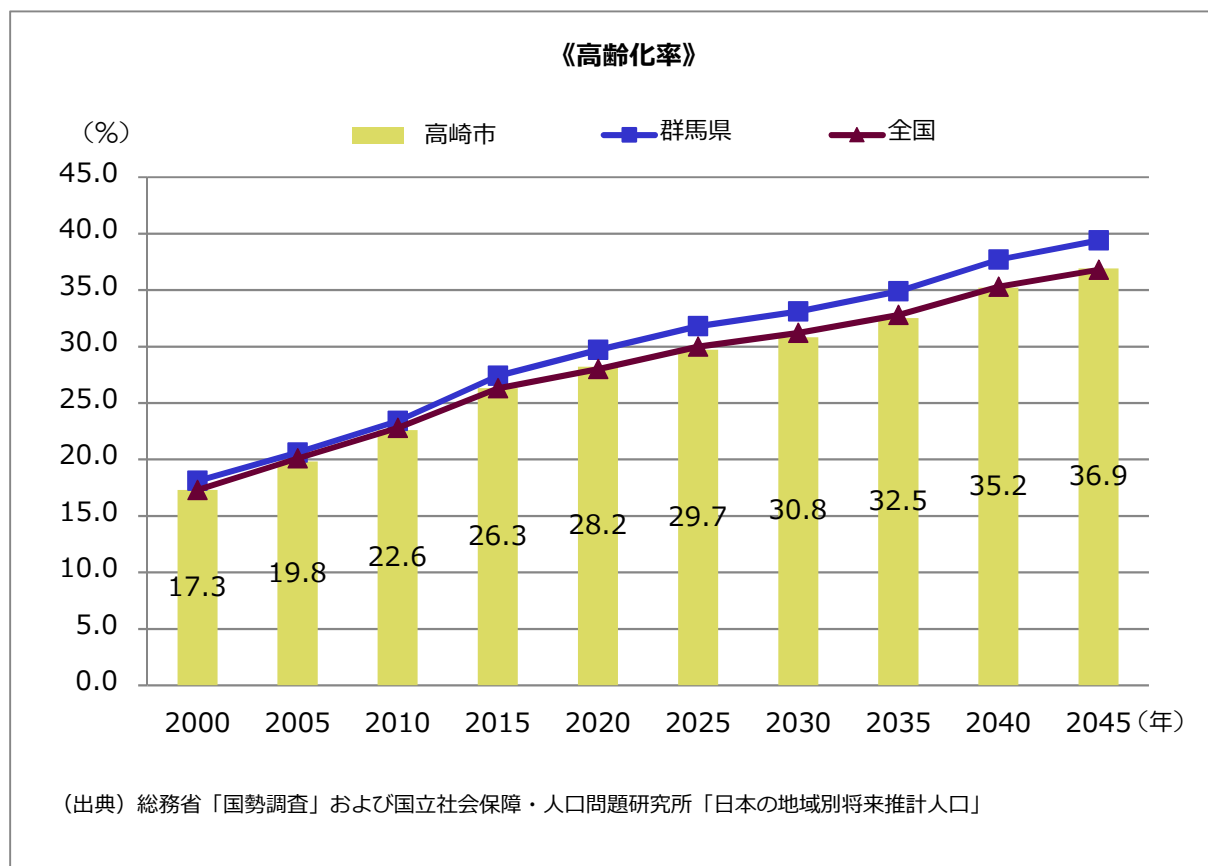


4 地域包括ケア「見える化システム」を活用した高崎市の現状分析

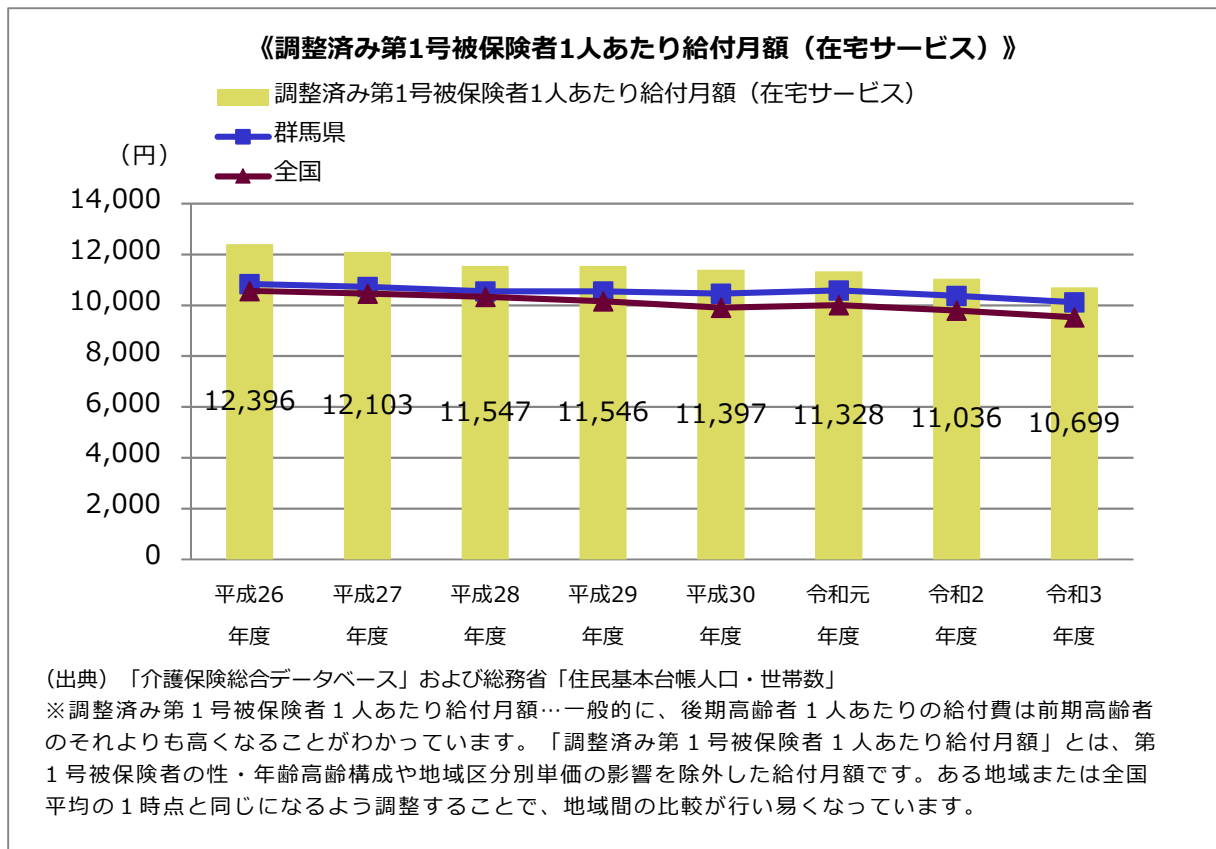
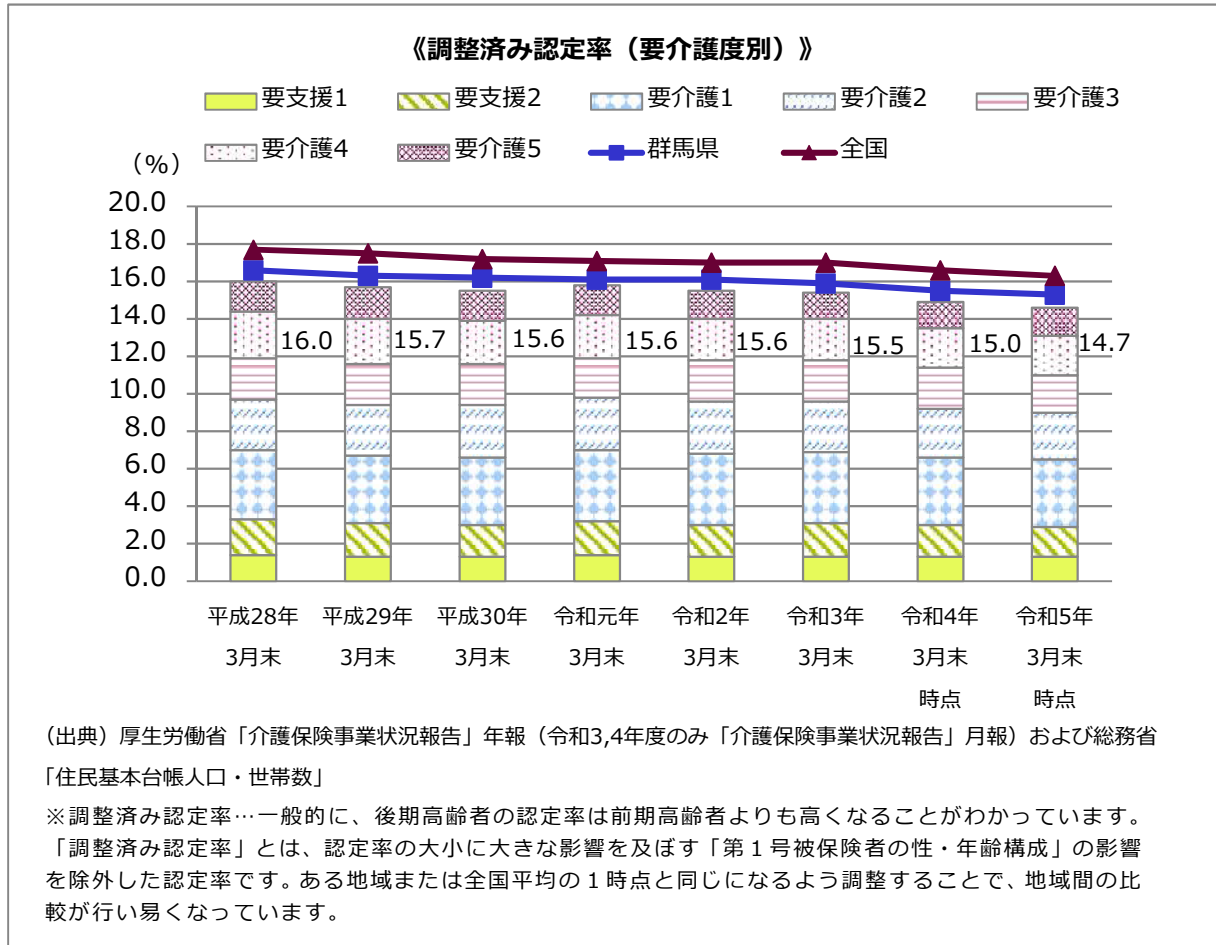
(1) 分析の概要

大都市やその周辺都市、地方都市、中山間地域等、地域によって高齢化の状況やそれに伴う介護需要も異なってくるため、地域の実情に合わせた多角的な地域分析が求められています。介護保険制度の適正な運営だけでなく、地域特性を捉えた地域包括ケア体制の推進や、PDCA サイクルに沿った事業展開を行えるよう、国が提供する地域包括ケア「見える化システム」を活用し、以下のとおり全国・群馬県との比較分析を実施しました。

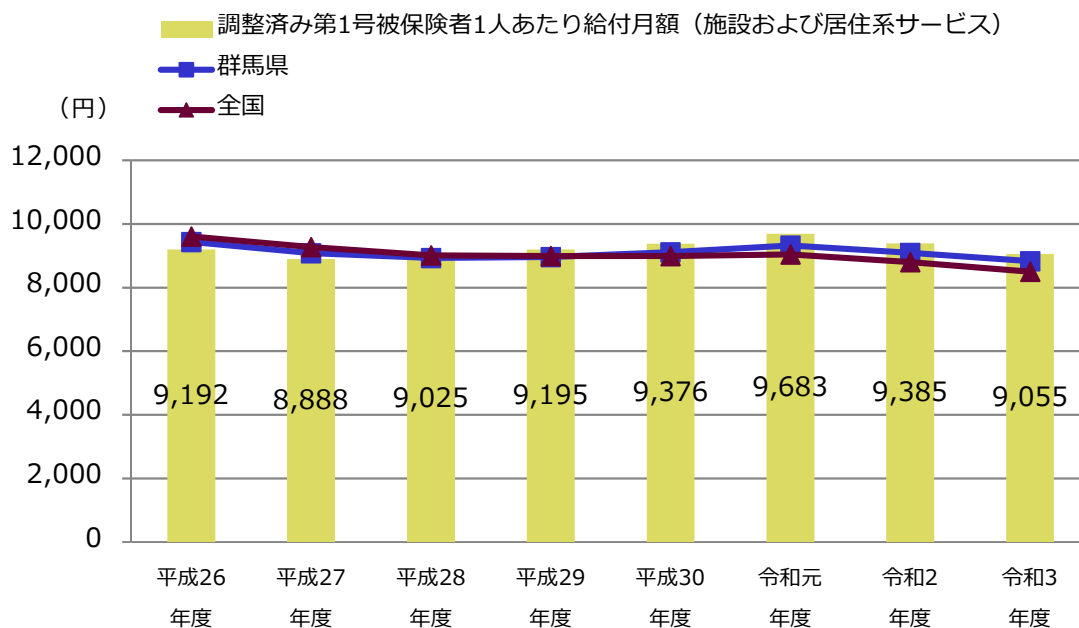
本市においては、要介護度別の認定率は全国・群馬県の平均より低いものの、在宅サービス費の給付月額、全国・群馬県の平均を上回っています。また、要支援・要介護者1人あたりの定員数は、通所系・居住系・施設系のいずれのサービス系統においても、全国・群馬県の平均を上回る傾向となっております。



資料編 2 調査・分析



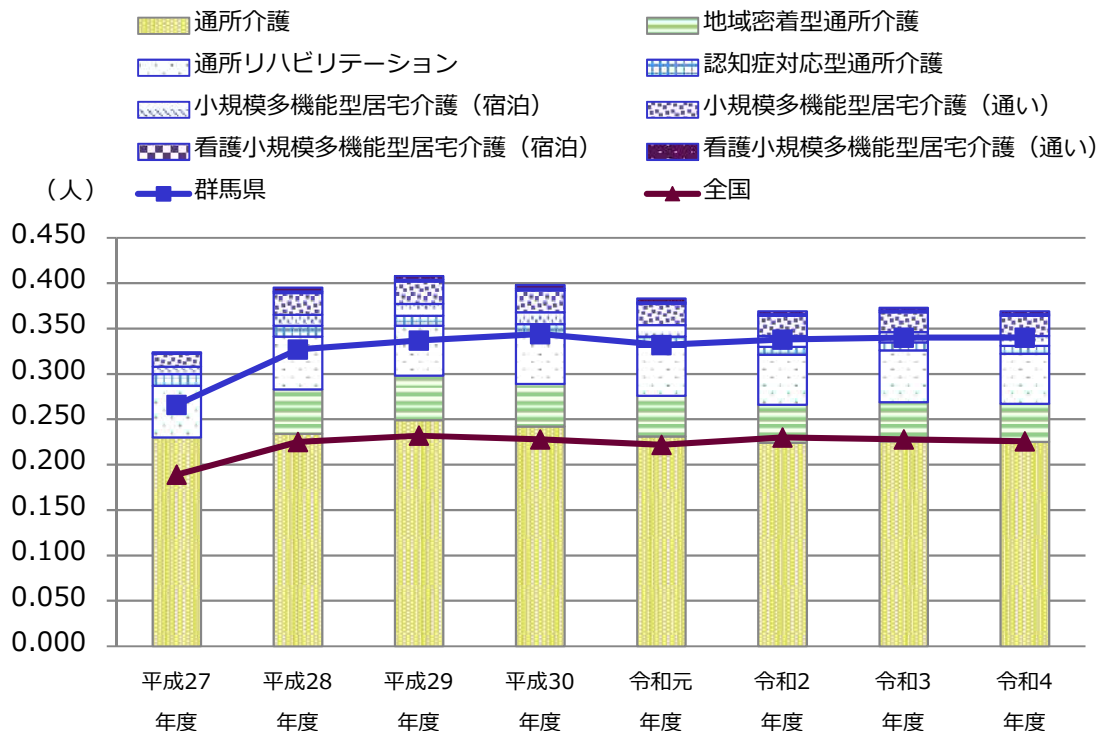
《調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）》



(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額…一般的に、後期高齢者1人あたりの給付費は前期高齢者のそれよりも高くなるのがわかっています。「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは、第1号被保険者の性・年齢高齢構成や地域区分別単価の影響を除外した給付月額です。ある地域または全国平均の1時点と同じになるよう調整することで、地域間の比較が行い易くなっています。

《要支援・要介護者1人あたり定員（通所系サービス別）》



(出典) 介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（年報未公表時のみ月報）

※全国や群馬県の数値は、各種通所系サービスの数値を合算したものの。

■資料編2 調査・分析

